



応援活動



入場行進

五〇〇m 「八〇〇m」 「一〇〇m」 「二〇〇m」の個人種目、伝統の集団種目の二年生男子の「騎馬

第57回 体育祭

七月下旬から準備を進めた第七七回体育祭は予定どおり九月十一日に実施し、無事に終了することができました。このことは班長・リーダー長をはじめ三年生がリーダーとして役割をしっかり果たし、結団式、応援練習など各班一致団結して準備を進めてきたことよって実現できたものであり、改めて感謝します。直前の台風一四号による臨時休校など、変わりやすい秋の天候には不安も多かったが、予行練習や会場設営などほぼ予定どおり実施することができました。

体育祭当日は、気温も高くなく絶好の天候となり、生徒の高校生らしい躍動感にあふれる姿を随所で見ることができました。堂々と胸を張っての「入場行進」が始まった「開会式」。体力やスピードの限界に挑戦した「二〇〇m」の個人種目、伝統の集団種目の二年生男子の「騎馬戦」、三年男子の「棒倒し」、二・三年女子の「女の意地」、そして体育の授業の発表としての一年生女子の「バンブーダンス」、二年女子の「チアダンス」、一・二年男子の「集団行動」、全てにおいて見学に来られた方々に島原高校の体育祭の魅力を十分に伝えるものでした。また、班活動の集大成としての「応援合戦」はどの班も工夫を凝らしたものであり、ほとんど差がつかないほど優れたものでした。体育祭の最終種目は本校恒例の「サークル活動」ですが、班別に競った仲間も島原高校の仲間として一斉に肩を組み、かけ声をかけ、自分に、仲間、そして学校にエールを送るものであり、今年も高らかに応援歌を合唱し友情を誓い合いました。最後の閉会式では小松PTA会長の首頭で万歳三唱を行い、島原高校の更なる活躍を祈念し、体育祭を終了しました。



島高だより
平成17年3号
(通巻第9号)
長崎県立島原高等学校
編集：情報図書部

体育祭優勝班生徒の声

五班 森塚 倫也

自分の統率力のなさが痛感される中、三年生全員がバックアップしてくれ、一・二年生も素直にそれに答えてくれたおかげで本番を迎えることができました。競技の部では、最初から他の班をリードし、圧倒的な力で優勝することができました。これは、五班全員が一つになり頑張ったからだと思います。



サークル活動

最後に、優勝に向けて最大限の協力をしてくれた七班の皆への感謝の言葉で終わりたいと思います。『ありがとう。』

(応援の部優勝七班リーダー長)

応援合戦優勝班生徒の声

七班 田浦 喜裕

応援活動を通じて私は、集団が団結することの大切さを学びました。七班優勝という結果も、他の班に勝る強い絆があったからだと思います。リーダー長として皆を一つにするために、練習では常に明るく、後輩とも出来る限り気軽に話が出来るといい雰囲気を作りました。普通なら嫌がる行進練習も皆よくやってくれました。

最後に、体育祭を開催するためにサポートしてくださった先生、協力してくれた五班の班員、そして応援リーダーにお礼を言いたいです。

(競技の部優勝五班リーダー長)



リレー競技 バトンタッチの瞬間!

生徒会大文化祭担当 (三年七組 上田明日美)

青楓祭2005はいかがだったでしょうか。個人的には、全員が楽しめる文化祭にしよう!と心を決めて運営しました。何度も挫折しそうになりましたが、たくさんの人々に支えてもらい、本番を迎えることができたことに感謝しています。最後に… 休み返上で、暑い中一緒に作業をした役員

のみんな、体育祭も間

近だったのに、クラスの準備を抜けても文句一つ言わずにいてくれた三年七組のみんな、本当にありがとう。すごく楽しい文化祭でした。

(二年四組 福田あり)

三年に一度の青楓祭ということで、

生徒会一丸となって計画運営し、無事に成功させることができました。小文化祭とは違い、看板の制作や音楽祭など、初めてのことで大変でしたが、たくさんの人達に助けられました。こうして青楓祭の企画運営に関わることができてよかったです。この青楓祭が見てくださった方々の思い出に残るものとなれば、嬉しいです。青楓祭運営に当たり支えてくださったたくさんの方々に感謝します。ありがとうございました。



大文化祭

二学期に入ってすぐの九月二日(金)と三日(土)の両日に、「創りだせ 文化の架け橋 夢のせて～青き楓の新たな挑戦～」という統一テーマのもとに、青楓祭が盛大に開催されました。三年に一度の大文化祭とあって、文化部の他に、一・二年生の全クラスと三年生の三クラスの参加を得、さらに、特別イベントとして島高音楽祭も開催されました。文化会館大ホールを会場としたステージの部では、各文化部の発表に加えて、理数科の課題研究発表や二年三組の目結力あふれるダンスも披露されました。また、本校の南校舎を会場とした展示・イベントの部では、お



お化け屋敷、つまようじで制作した絵画、巨大な壁紙、モザイク画、ドミノ、校内ゲームなどの面白い企画も見られ、お化け屋敷では大勢の人が詰めかけて長蛇の列ができました。当日は、保護者の方々をはじめ一般の方々にも多数ご来場いただき、本校生徒の文化活動の様子を見ていただき、ありがとうございました。また、本校美術部の制作した青楓祭のPRポスターを、島原市内外の商店などに掲示させていただきましたが、ご協力いただいた事業所等にこの場を借りてお礼を申し上げます。(生徒会指導部 岸 和行)

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われますが、今年も秋が深まってきました。我が家の柿の実も色づきはじめました。二学期開始早々、青楓祭(大文化祭)、体育祭と立て続けに大きな学校行事がありました。「創りだせ 文化の架け橋 夢のせて～青き楓の新たな挑戦～」のテーマで行われた青楓祭は、文化部や学級が発表・展示・ステージ部門で、若々しい感性と創造性を発揮してくれました。一方、第五七回体育祭は心配された天候も回復し、全校生徒が優勝を目指して情熱を燃やすとともに澆刺とした行動で、感動に満ちたものとなりました。遅さと優美さ、力強さとユーモアの調和のとれた体育祭であったと思います。保護者の皆様にも両行事をご観覧いただき、ありがとうございました。お子様の資質の高さにお気づきになったことと思います。今学期も公開授業を予定しております。ご家庭と一味違ったお子様の表情をまたご覧いただけます。

校長室から 柳川伸一

第二学年から



の合宿を通して、子供達一人一人が学習に対する姿勢や考え、自己の限界まで学習に取り組む集中力を

本年度も島原高校の学力充実の重要な柱となる雲仙学習合宿が八月十七日から六泊七日で実施されました。合宿中は自己の計画に従って自律的な学習ができたと思います。また、六泊七日

9月下旬の主な行事予定

30日(金) 3年学年末考査(～10月5日)

10月の主な行事予定

- 3日(月) 1・2年中間考査(～5日)
- 7日(金) 芸術鑑賞会
- 8日(土) 土曜講座⑧(3年のみ)
- 14日(金) 3年特別講座(～10日)
- 15日(土) 2年海岸清掃
- 15日(土) 土曜講座⑨(3年のみ)
- 19日(水) 英検1次
- 19日(水) 第2回青楓塾(講演会 講師:熊谷有展先生)
- 22日(土) 土曜講座⑩(3年のみ)
- 22日(土) 3年対外模試(～23日)
- 29日(土) 3年対外模試, 1・2年対外実力
- 30日(日) 3年対外模試, 2年対外実力

11月の主な行事予定

- 1日(火) 創立記念日
- 3日(木) 県高校文化祭総合開会式
- 3日(木) 3年対外模試
- 5日(土) 土曜講座⑪
- 5日(土) 3年対外模試(～6日)
- 12日(土) 3年対外模試(～13日)
- 13日(日) 3年大学別オープン模試(～13日)
- 13日(日) 英検2次
- 19日(土) 3年プレテスト(～20日)
- 22日(火) 部活動生支援学習会(～25日)
- 23日(水) 1年トップレベル
- 23日(水) 3年大学別オープン模試
- 26日(土) 土曜講座⑫
- 26日(土) 3年プレテスト(～27日)
- 28日(月) 2年期末考査(～12月1日)

12月の主な行事予定

- 3日(土) 土曜講座⑬
- 3日(土) 3年記述模試(～4日)
- 5日(月) 1年期末考査(～8日)
- 5日(月) 2年修学旅行(～9日)

第二学年から

と忍耐など様々なことを学び、感じ取ってくれたことと思います。

さて、五八回生三年生は、文化祭や体育祭で活躍しました。学校全体が丸となる二つの行事を、こんなにも見事に成功させてくれたと感動しています。三年生は一気に受験モードです。そろそろ受験の結果が出てしまう人、出願間近の人、センター試験出願も迫っています。いよいよ本格的に進路目標達成の瞬間がやってきます。そこで大切なのが①心身の健康管理に努める仲間と共に②謙虚に努力を怠らない姿勢です。ここからが正念場。五八回生の一人ひとりが自己の進路目標達成に向けて邁進することを期待します。我々は学校をあげて君達を支援します。



この夏、将来の進路を考える多くの機会がありました。大学の研究活動や学生生活を知るには絶好の機会であるオープンキャンパス。本校からは、長崎大学・九州大学・熊本大学・佐賀大学・長崎総合科学大学の五大学に総勢一三七名が参加しました。大学入試制度の

変更や学部・学科の説明を受けた。模擬授業体験や施設の見学などを行いました。東京の大学のオープンキャンパスに参加した生徒もいました。他に、島原市

第一学年から

県下の全公立高等学校において実施される「二校一役運動」の一環として、一学年では体験的な学習を通して思いやりを持った豊かな人間性と社会性を育てる目的で、七月二十日、二十一日の両日にわたり、クラスごとに、特別養護老人ホーム、知的障害者更正施設、デイサービスセンター、通所授産施設、養護学校といった種々の施設を訪問しました。生徒が工夫を凝らしたゲームや合唱等のレクリエーションや、施設の方々が行っておられる日常作業を共に体験するなどさまざまな活動を行い、生徒は、普段の学校生活ではできない貴重な経験ができたようです。感想文の中にも「障害を持った方を偏見の目で見たりする人もいると思うけど、私はこの体験を通して、そんな目で見る人がいなくなればいいなと思いました。」「みんな同じ人間だから、楽しんだり喜んだりいろいろ感情があるから、それをもっと大事にしたいと思いました。」など、生徒の成長を感じさせるものが多く見られました。活動の場を提供していただき、また丁寧な対応と指導をいただきました。ありがとうございました。



施設の方々、持ちをお伝えしたいと思います。

理数科から

理数科一・二年生、「理数科研修旅行」を実施！
理数科主任 島田朋成



昨年度から夏休みに行っている理数科研修旅行(：大学の施設で大学の実験指導のもと、先端の科学技術に触れ、科学的なものの方や考え方、科学技術の基本原理を知ることが目的)、今年は一学年が七月二十九日に崇城大学(熊本)で、一学年が八月三、四日に長崎総合科学大学でそれぞれ実施しました。二年生は全員が薬の作成(薬学)、DNAの抽出(応用微生物工学)、橋梁の作成・強度実験(環境建設工学)の実験実習に二泊三日(阿蘇宿泊)で臨みました。また、一学年は自作した模型船の抵抗実験(船舶工学)、バイオマスエネルギー(環境科学)、ディーゼルエンジンの運転・計測実験(機械工学)などの実験実習に二日間(通い)で取り組み、研究を深めました。バイオマスエネルギーの実験を体験した二年生は、「バイオマスの実験は本当に感動しました。というのも、植物+水蒸気+ガスができるのです。さらに、植物は何でも良く、そのガスを燃やしても化石燃料と違い二酸化炭素を増やさないという、将来のエネルギー源として大変期待が高まりました。」と感想を述べています。生徒達に大変好評を得ているこの取り組み、今後も続けていく予定です。



生徒達に大変好評を得ているこの取り組み、今後も続けていく予定です。